



3年学年だより

発行日：令和2年11月30日（月）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：三浦 昌彦 NO. 6

令和3年度生徒会役員選挙が行われました！

11月17日（火）に令和3年度生徒会本部役員を選出する立会演説会が、高校と合同でビデオ放送で行われました。候補者たちは『やろう！』の一言が言える、行動に移せる学校を実現したい」「言いにくい・言えないを、言いやすい・言いたい雰囲気づくり」「様々な学年、クラスの人と交流し、その中で互いに信じあえる関係を築いていきたい」など、思いを熱く語りました。同日に投票した結果、令和3年度生徒会本部役員が以下の通り決定しました。

生徒会長	■■■■	さん（2年4組）
役員	■■■■	さん（2年1組）、■■■■
	■■■■	さん（2年3組）
	■■■■	さん（1年1組）、■■■■
		さん（1年2組）



令和2年度 現生徒会本部役員のみなさん



令和3年度 新生徒会本部役員のみなさん

今年度、生徒会本部は「伝える伝わる広げる言の葉 ～あなたも生徒会員の一人～」という生徒会目標を掲げて活動しています。この1年、新型コロナウイルス感染予防のために、生徒会活動がかなり制限されています。そのなかでも3学年の互いのつながりが少しでも感じられるようにと、部活動紹介ビデオを作成したり、例年のSLM（スマイルランチミーティング）に代わる活動を企画したりしています。12月から3月までの4カ月、現役員と新役員の10人がともに活動することで、生徒会本部活動の引継ぎとパワーアップとを目指していきます。

本部役員は附属中生の代表として活動していきますが、附属中学校を作っていくのは全校生徒のみなさんです。南高校附属中学校は、来年度で開校10年目を迎えます。その時その時の附属中生が試行錯誤を繰り返して、今の附属中学校を作ってきました。附属中学校が開校した頃の先輩方が思い描いていた中学校生活を、今、みなさんが送っているのです。次は7・8・9期生のみなさんが節目となる10年目の附属中学校を作っていきます。「こんなことやってみたい」という一人ひとりの思いが、さまざまな生徒会活動（クラスの係活動や委員会活動や学校行事など）となり、それらが結集されて附属中学校の生活は充実していきます。一人ひとりの思いを、互いに聞き合い受けとめ合って、行動へつなげていきましょう。附属中生とともに、南高校附属中学校も日々新しく成長していきます。

関西研修旅行実行委員会始動

カナダに代わる研修旅行の行き先が京都・大阪に決定しました。まだまだ油断はできない状況ですが、研修旅行が思い出に残る充実した旅行になるよう関西研修旅行実行委員会が発足し、動き出しました。そこで、各クラスの実行委員さんが、どんな研修旅行にしていきたいか、思いを語ってくれましたので紹介したいと思います。



関西研修旅行実行委員

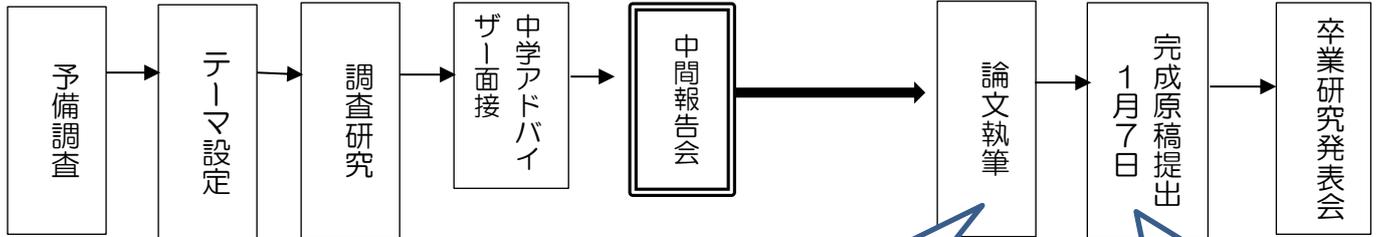
1組: [] (委員長)、 [] 2組: []、 [] 3組: [] (副委員長)、 [] 4組: []、 []

- やっぱりカナダに行きたかったというのが正直な気持ちですが、だからこそ、カナダと比べてどうかではなく、この研修旅行そのものを充実したものにしていきたい。一番最後の大きなこの行事を全力で楽しんで、嫌なことや苦しいことを一時的にでも忘れられるような時間を7期全体でつくっていきたい。
- 7期として、もう一段つながりが深まる。終わった後に何十年先も語り継がれ、余韻に浸れる。思い出がたくさんつくれる。新たな出会いがある。そんな研修旅行にしたい。
- 日本の古都である京都やUSJで過ごす時間が、7期生にとって普段できない貴重な体験になるように頑張りたい。コロナ禍でも旅行に行ける有難みを忘れず、全員で楽しめる旅行にしていきたい。
- 関西方面研修旅行を企画してもらえたことに感謝しています。感染対策などできることをしっかりと行い、できる範囲で最大限に楽しみ、学ぶ研修旅行にしたいと思います。
- 海外に行くことはできないが、日本の文化をあらためて学び、中学最後の思い出作りの旅行にしていきたい。地域の人に迷惑をかけない。密にならないなどコロナの時代に対応した旅行にしていきたい。
- 160人全員が研修旅行を終えたときに「楽しかった」「また行きたい」と言えるような旅行にしたい。最後として相應しいインパクトに残る3日間にしたい。
- 「じいつ」を意識して楽しめたらいいと思う。「じいつ」には「自立」と「自律」の2つの意味がある。進学する前に公共の場でのマナーを守ることや、宿泊先、移動時などでの物の管理や行動がひとりの人間として自立ができるようにしたいと思う。さらにデンションが上がりすぎ勝手な行動をとらないよう、自分自身を律していくことも大切だと思う。
- カナダが無くなってしまい、皆のモチベーションが下がりがかけていたところで決まったこの旅行は、中学校生活最後の思い出作りの場となるし、今までで最も密の濃い思い出ができる行事となるはずです。
だからこそ、私たち関西研修旅行実行委員会が責任をもって企画して、皆が楽しめる様に努めていきたいです。

EGG 卒業研究 いよいよ執筆へ！

10月24日(土)にEGG卒業研究の中間発表会を行いました。予備調査、テーマ設定、調査研究、中学アドバイザー面接の過程を経て、これまで進めてきた活動を現段階でいったん整理整頓するのが中間報告会です。

一人5分程度の持ち時間でこれまでの調査研究活動の進行状況と成果をフリップにまとめて、プレゼンテーションを行いました。研究を説明する際は、もう一度あらためて自分のテーマをふりかえり、どこまで明らかにできているのか、何に困っているのかを考えて臨みました。説明を聞く際は、提示された課題に対する質問や、中学生としてもっと知りたいことなどを、伝え合いました。



中間報告会の一コマ



慣れない?パソコンと奮闘する人達

論文執筆も佳境です。完成原稿の提出日は、1月7日(木)です。A4用紙「20枚」という千里の道も一歩から。前進あるのみです。頑張れ7期生！！



味のある手書きに拘る面々

表彰のお知らせ・・・おめでとうございます！

- 税についての作文 全国法人会総連合会長賞
- 横浜南税務署長賞
- 東京地方税理士会横浜南支部長賞



さん
さん
さん

- 青少年読書感想文全国コンクール 最優秀 毎日新聞社横浜支局長賞

優 良 [blacked out] さん『生き方についての発見』
[blacked out] さん『本当にやりたいこと』

姫のひとりごと

「佳境」という言葉がありますが、卒業研究もまさに佳境です。今年はコロナ禍で、取材等にも制限がありました。オンラインで行うなど、柔軟な対応が見られました。関西研修旅行の実行委員さんたちの意気込みにも、3年間のまとめにふさわしい自覚が表れていて頼もしいです。